

## 3

## 入試科目「論説」の概要

論説の内容	課題文や資料（文章や図表等）を読み、設問に解答する。
「高校等での学習」の成果として重視する点	得られた事象や情報を整理・分析し、概要にまとめ、論述する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、課題を見出し、高校等での学習や自身の経験を資料等の内容と関連付けながら、その解決への道筋を考察し、論述できる力。

**昨年の「論説」の内容例**（一部を抜粋しています。）

## 〈テーマ〉

生息状況および出没の変遷とその背景

## 〈与えられる資料〉

資料1 全国のツキノワグマの有害駆除頭数の年次変化を示したグラフ

資料2 日本のツキノワグマの生息状況や、大量出没の背景に関する文章

## 【文章の概要】

ツキノワグマは絶滅の恐れがあるとみなされている。一方で、ツキノワグマの大量出没に伴う人身事故が近年増加しており、その背景には人間の社会や生活の変化に伴う森林の変化などがあると推測されている。

資料3 ツキノワグマの生息数の変化に関する文章

## 【文章の概要】

人口増加と土地利用の拡大はツキノワグマの分布を大きく縮小させた。しかし現在は、狩猟者の数の減少などに伴って、ツキノワグマを含めた野生動物の多くは分布を回復させており、日本人と野生動物の関係は新たな段階へ移行しつつある。

資料4 ツキノワグマの分布を示した図

資料5 福島県を除く東北5県におけるツキノワグマの捕獲頭数とブナ豊作指数の年次変化を示したグラフ

資料6 光足尾山地におけるミズナラとクリの結実程度とツキノワグマの行動圏を示した図

## 〈設問〉

問1 次の(1)と(2)の設問に答えなさい。

- (1) 資料1のグラフから、ツキノワグマの有害駆除頭数にはどのような推移や変化がみられるか、その特徴を100字以内で述べなさい。
- (2) (1)で述べた推移や変化の理由として考えられることを、資料1～資料4を参考にして300字以内で述べなさい。

⇒**ねらい**：与えられた図から事象を的確に把握する力、与えられた図表や文章を関連付けて分析して事象・現象を考察する力、わかりやすい文章で論理的に記述する力をみる。

問2 資料5に示されたような、ツキノワグマの捕獲頭数の変化に影響を及ぼす要因として何が考えられるか、資料5および資料6を用いて350字以内で説明しなさい。

⇒**ねらい**：与えられた複数の図表を読み取り、現象を把握する力、得られた情報に基づいて分析する力、それらをわかりやすい文章で論理的に簡潔にまとめる力をみる。

問3 資料1～資料6を踏まえて、あなたはツキノワグマと人間の間にどのような問題があるか。また、その問題を解決するためにどのような方策をとればよいと考えるか。問題と方策の内容を具体的に述べなさい。さらに、方策を実行するにあたって新たに生じうる課題とその課題を解決するための工夫について述べなさい。あわせて400字以内で述べなさい。

⇒**ねらい**：与えられた文章や資料から課題を見出し、高校等での学習や自身の経験と関連付けながら、解決への道筋を考察する力をみる。


**論説のポイント**

- ・1つのテーマに関する複数の資料（文章、グラフ、表等）について、それらを関連付けながら読み解くことができるようにしよう。
- ・課題になっていることは何か、自分ならその課題にどう対応するかを常に考えるようにしよう。その時に、自分の考えを補強するためにはどんなことを調べたらよいかも、あわせて考えてみよう。
- ・普段から、論理的でわかりやすい文章で表現できるように心がけよう。